

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

	ご質問など	回答
1	実施しなくて評価無しならともかく、実施して評価無しが多く感じる。(14・16・25・37・38・39) 事業を実施したくてもコロナの影響で出来ない事情のためか取り組みの継続が多い。	令和2年度はコロナ禍にあって中止や縮小を余儀なくされましたが、より徹底した新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じながら事業目標に沿った事業に取り組んでいます。 認識のとおりです。【中央図書館】
2	ボランティアの養成講座や研修が全面中止になっていたのは残念。今後リモートでの開催は難しいですか？	講座の内容や進め方など今後の検討課題とします。
3	コロナ禍の現状は、孤立化・孤独化を招きやすい状況にあることから、乳幼児をはじめ親子を対象、また青少年や成人など、広い年齢層を対象とした生涯学習の機会の提供は、心豊かに、また穏やかに暮らしていくために必須の「社会的環境」であると思われる。今後もこのような機会の充実が図られるように望みたいが、予算減事業が多い点が気になっている。	予算減の中でも補助金を活用する等の工夫をし、あらゆる世代に学習の機会を提供できるよう事業を企画・検討していきます。【学習支援課】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「コロナ禍の現状は、孤立化・孤独化を招きやすい状況にあることから、乳幼児をはじめ親子を対象、また青少年や成人など、広い年齢層を対象とした生涯学習の機会の提供は、心豊かに、また穏やかに暮らしていくために必須の「社会的環境」であると思われる。今後もこのような機会の充実が図られるように望みたい。」
4	誰もが、どんな環境でも学べるためには、コロナ禍に限らず、インターネットでもアクセスできることが選択肢としても重要になってくると思う。不登校でも引きこもりでも、育児中や介護で家を空けられなくても、学びたい事が学べるように。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「誰もが、どのような環境でも学べるためには、コロナ禍に限らず、インターネットでアクセスできることが選択肢として重要になってくると考えられる。」
5	実施時期や形態によりやむなく中止となった事業もあるが、内容と方法を変更して実施できた事業もあり、コロナ禍であっても市民の学びを支え続けようとした教育行政の姿勢は高く評価できる。定員を絞り込んだ事業も、参加者の満足度が高い等の結果を得ており、当該事業の目的を見つめ直し、あらためてどのような市民にどのような学びの機会を届けるかを熟慮する機会になるとよい。動画やオンラインを用いた事業は、配信するのみで条件整備が十分とは限らないことから、学習者がオンライン・ツール等を使えるようになるための支援も提供できるとよい。そのほか、パークライブラリーとしての読書空間の創出や非来館型のサービスの拡充など、読書のまち八王子の推進において、コロナ禍を契機とした新たな図書館事業の展開は特筆され、ポストコロナ時代の生涯学習政策の方向性としても非常に高く評価できる。	生涯学習センターでは令和2年度に南大沢及び川口分館で「zoom」の使い方を学べる講座を開催しました。今後もオンラインを活用した講座の実施や動画配信だけではなく、オンラインツール等の使い方を学べる講座を引き続き企画・検討していきます。【学習支援課】 いただいたご意見を参考に今後も取組を継続していきます。 【中央図書館】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「実施時期や形態によりやむなく中止となった事業もあるが、内容や方法を変更して実施できた事業もあり、コロナ禍であっても市民の学びを支え続けようとした教育行政の姿勢は高く評価できる。」 「定員を絞り込んだ事業も、参加者の満足度が高い等の結果を得ており、当該事業の目的を見つめ直し、あらためてどのような市民にどのような学びの機会を届けるかを熟慮する機会になるとよい。」 「動画やオンラインを用いた事業は、配信するのみで条件整備が十分とは限らないことから、学習者がオンライン・ツールを使えるようになるための支援を提供できるとよい。」 「パークライブラリーとしての読書空間の創出や非来館型のサービスの拡充など、読書のまち八王子の推進において、コロナ禍を契機とした新たな図書館事業の展開は特筆され、ポストコロナ時代の生涯学習政策の方向性としても非常に高く評価できる。」

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

	ご質問など	回答
6	<p>・新型コロナ感染症のために、「25. 図書館おすすめブックぱっく」や「29. 新たな読書空間“パークライブラリー”」、「29. 非来館型サービスの拡充」の事業のニーズが多く、今後の新しい生活様式に有意義であると思う。今後のさらなる充実をお願いしたい。</p> <p>・令和2年6月に「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が認定され、令和3年度から小中学校でも郷土学習が始まった。今年度、コロナ禍で実施できなかった「18. 19. 20. 郷土の歴史や文化財に親しむ」の講座の充実を引き続きお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に今後も取組の充実に努めていきます。【中央図書館】</p> <p>令和3年度では、「郷土資料館での講座・体験学習」は場所の確保や密回避のため休止となりますが、「文化財見て歩き」、「八王子車人形と民俗芸能の公演」につきましては規模を縮小しての実施を予定しております。【文化財課】</p>
7	<p>約半数の26事業が変更して実施できたことに、素晴らしいと思います。コロナ禍で、制限された生活の中で、市民の学びを止めない環境づくりは今後も続けてください。</p>	<p>いただいたご意見を参考に今後も取組を進めていきます。【中央図書館】</p> <p>ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。</p> <p>「約半数の26事業が変更して実施できたことが素晴らしい。コロナ禍で制限された生活の中で、市民の学びを止めない環境づくりは今後も続けてほしい。」</p>
8	<p>コロナ禍で、多くのイベントが中止に追い込まれてしまったのは、致し方ないとはいえ、本当に残念でした。そんな中でも、オンライン講座などに活路を見出そうとする市側の努力は買いたいと思います。子どもたちが本に触れる最初の機会を提供している「ブックスタート」は、基本施策1の中でも最重要の事業と考えますが、図書館での配布ではやや不足に思われました。産婦人科で引換券を渡してでも本を提供する態勢をつくってもいいのではないのでしょうか。そのくらいの強引さが必要だと思いました。</p>	<p>ブックスタートは、お子様が初めて本に触れる機会として重要な事業と位置付けており、昨年度はコロナ禍を契機に、これまで実施していなかった各図書館での配布を実施したところです。また、集団健診に出席できない方については、保健福祉センターと連携し、保健師がご家庭に訪問した際に、ブックスタートのパックを配布するなど、出来る限りすべての0歳児に本が届けられるよう努めているところです。第4次読書のまち八王子推進計画では、発達段階に応じた切れ目ない読書活動支援により読書習慣の形成を図ることとしており、乳幼児の頃から継続して図書館を利用していただくための方策の一つとして、昨年度には出張型の利用者登録を試行的に実施しました。今後も、乳幼児の読書活動支援に努めていきます。【中央図書館】</p>

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

	ご質問など	回答
1	「いかす」という事業は大事だと思うが、現状は成功している例はほとんどない。今後単発的な「いかす」ではなく持続可能な「活かす」事業を考えてほしい。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「「いかす」という事業は大事だと思うが、現状は成功している例はほとんどない。今後単発的な「いかす」ではなく持続可能な「活かす」事業を考えてほしい。」
2	74. はちおうじ出前講座等実施したくても借りられる場所(市民センター・学校・町内会館等)が無いために思うように活動で出来ない現状が多くありました。	講座の内容や目的、ネット環境等各々の実情に応じた開催方法を選択できるようにしていくことが今後さらに重要と考えています。
3	コロナの影響で中止、延期となる講座が多い中、感染予防策をとり、実施できた講座もあり、工夫されていると思いました。このような状況はまだ続くと思われ、36. 43. のようなICT関連の講座を拡充して頂ければと思います。本のセット貸し出し、良いと思います。	No.43ゆうゆうシニア講座のうち、ICT関連の講座については、倍率も高く要望も多いため、今後も継続して実施するとともに、コロナ禍への対応としてオンラインツールのスキルを学べる講座についても実施していきます。【学習支援課】
4	オンライン技術や、そのための機器が普及・定着し始めている現在、国の内外を問わず、情報のやり取りなどの交流は可能になっているにも拘らず、中止や延期になっている事業が散見されるのは、いかがなものだろうかという感想を持った。中止や延期の判断に際しては、さらに工夫できる余地があるかについて、一層検討を深めていただきたい。	いただいたご意見は、今後の取組の参考にさせていただきます。 【中央図書館】 令和2年度は感染拡大防止のため多数の講座をやむを得ず中止としましたが、未だ新型コロナの収束が見通せない中、今後もオンラインを活用した講座の実施及び市HPでの動画配信などを企画・検討し、工夫をしながら事業を実施していきます。【学習支援課】 またご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「オンライン技術が進み、情報のやり取りなどの交流は可能になっているにも拘らず、中止や延期になっている事業が散見されるのはいかがなものだろうかという感想を持った。中止や延期の判断に際しては、さらに工夫できる余地があるかについて、一層検討を深めていただきたい。」
5	中高生も保護者や先生方から守られるだけでなく地域で何か成せる存在であるから(ボランティア以外でも)、その点の啓蒙含め活躍の機会が増えると良いと思う。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「中高生はボランティア以外でも地域で何か成せる存在であるため、その点の啓蒙含め活躍の機会が増えると良いと思う。」
6	コロナ禍において、学校では正規の教育課程の実施がまず大きな課題となったが、社会教育行政としては、子どもの放課後の安心・安全な時間と空間を保障し、学校単独では難しいような体験活動を充実する等の役割が求められる。こうした役割について、感染症対策を徹底しながら、地域とともに放課後や長期休業中の安心・安全な居場所づくりと体験活動の機会を提供できたことは非常に高く評価できる。コロナ禍という誰にとっても困難な状況を、地域と学校が共有し、子どものために新たな連携・協働の関わりを模索することができた。そのほか、コロナ禍によってボランティアの養成や支援の機会は減少したが、「活動したい」という市民の思いがコロナ後に開花できるよう、活躍の場の創出にも注力していくことが期待される。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「コロナ禍において、学校では正規の教育課程の実施がまず大きな課題となったが、社会教育行政としては、子どもの放課後の安心・安全な時間と空間を保障し、学校単独では難しいような体験活動を充実する等の役割が求められる。こうした役割について、感染症対策を徹底しながら、地域とともに放課後や長期休業中の安心・安全な居場所づくりと体験活動の機会を提供できたことは非常に高く評価できる。」 「コロナ禍という誰にとっても困難な状況を、地域と学校が共有し、子どものために新たな連携・協働の関わりを模索することができた。そのほか、コロナ禍によってボランティアの養成や支援の機会は減少したが、「活動したい」という市民の思いがコロナ後に開花できるよう、活躍の場の創出にも注力していくことが期待される。」
7	・「58. 59. 60子育て世代がつながるきっかけづくり」の講座は一人で悩みを抱えこみ不幸な出来事に起きないように、今の現代社会において必要な講座だと思う。特にコロナ禍の中で、外に行く機会も少なくなっている。是非、充実させてほしい。 ・子どもの貧困が問題になっている今、「56. 放課後子ども教室」や「57. 放課後こども教室と学童保育所と連携の拡大」はさらに事情を拡大し、未来の投資をしてほしい。	No.59子育て応援ひろばについては、今後も子育て自主グループや企業・団体等と連携しながら継続して実施し、子育て世代を支援していきます。【学習支援課】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「「58. 子育てひろば(親子ふれあい広場・親子つどいの広場など)、59. 子育て応援ひろば、60. 家庭教育支援講座」といった「子育て世代がつながるきっかけづくり」の講座は、子育ての悩みを一人で抱え込み、子どもに関する不幸な事件が多発している現代社会において必要な講座だと思う。特にコロナ禍の中で、外に行く機会も少なくなっているため、さらなる充実が望ましい。」 「子どもの貧困が問題になっている今、「56. 放課後子ども教室」や「57. 放課後こども教室と学童保育所と連携の拡大」はさらに事業を拡大し、未来への投資をしてほしい。」

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

	ご質問など	回答
8	家庭教育啓発リーフレットの評価がAで素晴らしいと思いました。ただ、A評価の根拠が何か知りたいです。他のものについても評価の根拠や指数はあるのでしょうか。	コロナ禍により家庭教育講座の中止が相次ぎましたが、「新しい生活様式」に対応した‘オンライン’による講座を開催し、好評を得ることができました。今後も開催方法など工夫しながら多くの保護者に参加していただけるようにしてまいります。
9	53番の学童保育所による取り組みですが、待機児童解消が目標値として掲げられています。これは生涯学習の範囲で目指す事柄なのでしょうか。子どもたちの健全育成や子育て家庭の福利厚生のために行政が当たり前に取り組むべきでは？学童で「異年齢集団の中で社会性を身につけ」ることはもちろん大切ですが、それと待機児童の解消とは結びつかないように思いました。ここで言っている待機児童とは、保育園に入れない未就学児ではなく、放課後に家庭で保育できない児童を指すのでしょうか？それは待機児童と呼ぶのかな。この事業内容は他に比べてとても異質な印象を持ちました。	「56. 放課後子ども教室」と関連して学童保育所と一体型事業を推進していくため、掲載しております。 (一体型：学童保育所が学校敷地内又は隣接地にあり、共通するプログラムに参加できる等)

基本施策3 学びを支える基盤づくり

	ご質問など	回答
1	コロナ禍という事情もあり評価は難しいなかよく健闘していると思う。コロナが収束したあと、昨年比との評価比較の基準を同じにしてしまうと皆Aになる可能性もあり要検討。	いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。【中央図書館】
2	事業の実施形態についてですが、会を運営するのに委託業者が入っていると内容的に時間の制限や内容の充実等を業者側が判断してしまい次回開催に魅力を感じられなく戸惑いを感じる。	ご指摘の内容について、今後の参考にさせていただきます。
3	109.110. について、どこで相談できるのかよくわかりません。多分生涯学習についてどんな相談ができるのか、相談できるという事自体、わかっている市民はいないのでは？と思います、周知に頂きたいです。←これに限らず、情報発信は非常に大切だと思いますが、「はちコミねっと」活動実態のない団体がそのままになっていることはありませんか？どこで管理しているのでしょうか？登録数あっても実際使える情報は少なくありませんか？	生涯学習相談については、生涯学習センターの窓口及び電話で随時実施しており、サークルや講師の紹介等を行っていますが、より多くの方にご利用いただけるよう周知を図っていきます。【学習支援課】
4	「No.108」だが、Withコロナの時代、Zoomを利用してオンライン講座を実施したことは評価できるが、受講希望者の全員がZoom を利用できるとは想定できないので、クリエイティブホールが利用可能ならば、ハイブリット型も視野に入れたらいかがだろうか。	新型コロナウイルス感染症感染拡大状況やクリエイティブホールの使用状況など時々の環境に応じたハイブリット型の開催方法などご指摘の内容を参考にさせていただきます。
5	パークライブラリーの取り組みは、より深化・発展させていきたいと思った。既に実施している地域のほか、八王子駅南口のビルに囲まれている広場は、パークではないが、同様の取り組みができるのではないだろうか。「人流」や「密」が気になるが、ゲームチェンジャーとして期待される「ワクチン接種」の人数が急激に増加している現在、こうした人が集まりやすい場所での取り組みについても、そろそろ検討してはいかがだろうか。	いただいたご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。【中央図書館】
6	①でのコメントと同じようになりませんが、発信だけでなく学び方の1つとして、zoom参加が出来る講座、録画が見ることが出来るなどが増えると、場所や時間等を揃えなければならぬ参加条件が緩み諦めないで学べる。	生涯学習センターでは今後もオンラインを活用した講座の実施及び市HPでの動画配信などを企画・検討し、「いつでもどこでも」学べるよう学習機会を提供していきます。【学習支援課】
7	生涯学習機会の情報の発信について、コロナ禍においても着実に事業が実施された。また、若い世代への施設利用の促進として実施されている「フリースペース」事業は、感染対策を図りながら実施した結果、多くの利用があり、若者たちのニーズを捉えられる。コロナ禍であっても学びを止めずに奮闘する若者たちを、空間という面から支援できたことは、長期的な視野で市民の社会参加や生涯学習の広がりを促していく基盤として重要であると考え。	フリースペースについては休館等で実施できない期間が2か月以上あったにもかかわらず、前年度に近い利用者数となっており、フリースペースへの需要の高さを実感しています。今後もフリースペースを継続して実施し、若い世代へ学習の場を提供していきます。【学習支援課】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。「生涯学習機会の情報の発信について、コロナ禍においても着実に事業が実施された。また、若い世代への施設利用の促進として実施されている「フリースペース」事業は、感染対策を図りながら実施した結果、多くの利用があり、若者たちのニーズを捉えられる。コロナ禍であっても学びを止めずに奮闘する若者たちを、空間という面から支援できたことは、長期的な視野で市民の社会参加や生涯学習の広がりを促していく基盤として重要であると考え。」
8	・SNSや紙面等の色々な媒体で情報を収集し選択できる体制になっていることが良いと思う。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。「SNSや紙面等の色々な媒体で情報を収集し選択できる体制になっていることが良いと思う。」

基本施策3 学びを支える基盤づくり

	ご質問など	回答
9	129のICTを活用した生涯学習機会の充実は今後とも必要になってくるので、ぜひ、力を入れて取り組んでほしいところ。電子書籍の冊数も増やしてほしいと思います。	電子書籍のタイトル数については、いただいたご意見を参考に拡充を検討していきます。【生涯学習センター図書館】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「129. ICTを活用した生涯学習機会の充実」は今後とも必要になってくるため、力を入れて取り組んでほしい。」
10	コロナ禍にあってもできることはないかと模索する姿勢が見て取れます。ZOOMの利用、SNSでの情報発信などはこれからもぜひ続けてください。評価に関してはアクセス数の解析が最も効果的ではないかと思えます。ご検討ください。ステイホームを余儀なくされた人々の中で見直されたのが本、つまり紙媒体です。2020年の1年間の書籍の総売り上げは前年を上回りました。そうしたなかで、生涯学習の発信媒体であった「はちおうじの教育」の未発行は残念でした。「市民センターだより」は集計中とありますが、これもあまり充実できなかったのではと危惧します。たとえ利用者がほぼ来られないようなときにでも頑張って発行し続けておくと、のちのちの市民の利用再開の際に必ず有益に働くと思えます。いまこそ踏ん張りどころです。	いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。

全体

	ご質問など	回答
1	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策に集中して世界中の人々が今までに無い未曾有の生死をさまよう様な不安感を抱いた2020年でしたがその中でも政府の指示に従い三密を避け出来ることから活動が始まっていると思います。今年も出来ることから徐々に事業の取り組みの継続を行い邁進していくことが重要かと思ひます。	いただいたご意見を参考に今後も取組を進めていきます。【中央図書館】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に集中して世界中の人々が今までにない不安感を抱いた年であったが、その中でも出来ることから活動が始まっている。今年度も出来ることから徐々に事業の取組の継続を行い邁進していくことが重要である。」
2	奇しくもコロナ禍は、私たち人類が自然界の一存在にすぎないことを、思い起こさせてくれた機会になったようにも思われる。その意味で、持続的発展に関する講座や取り組み、自然との付き合い方セミナーなど、持続的発展に寄与しながら市民生活の質の向上に資する生涯学習ならではの取り組みが、今後一層計画されていくように期待する。	いただいたご意見を参考に今後も取組を進めていきます。【中央図書館】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「持続的発展に関する講座や取り組み、自然との付き合い方セミナーなど、持続的発展に寄与しながら市民生活の質の向上に資する生涯学習ならではの取り組みが、今後一層計画されていくように期待する。」
3	コロナで皆さん色々心を砕き工夫されている。出来る限りの事をして学びを止めないのは素晴らしいと思う。中止や延期、企画通りに運ばなかった講座も無理は禁物だが、状況により次回に期待したい。	いただいたご意見を参考に今後も取組を進めていきます。【中央図書館】 ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「新型コロナウイルス感染症で様々な心を砕き工夫されている。出来る限りのことをして学びを止めないのは素晴らしいと思う。中止や延期、企画通りに運ばなかった講座も、状況により次回に期待したい。」
4	いつでもどこでも誰もが自由に主体的に学ぶことのできるものが生涯学習の理念である。子どもから大人まで、市民の学習活動の条件整備を行うことは、コロナ禍であっても教育行政に課せられた重要な責務である。感染症への対策にも大きな配慮が求められるなかで、コロナ禍だからこそ、講座のオンライン化、新たな屋外事業の試み、非来館型サービスの展開など、市民の学びを支えようとする意欲的な事業が企画・実施されたことは非常に高く評価される。感染症への対策等で実施が難しかった事業も、単に中止という位置づけではなく、目的や意義をあらためて確認してコロナ後の事業改善につなげるための大切な時間として令和2年度を位置づけて、ポストコロナ社会を見据えた事業の目的の再定義や新たな方法の開発をすることが望まれる。中止となった事業こそ、令和3年度以降の事業の発展に期待したい。	いただいたご意見を参考に今後も取組を進めていきます。【中央図書館】 ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「いつでもどこでも誰もが自由に主体的に学ぶことのできるものが生涯学習の理念である。子どもから大人まで、市民の学習活動の条件整備を行うことは、コロナ禍であっても教育行政に課せられた重要な責務である。感染症への対策にも大きな配慮が求められるなかで、コロナ禍だからこそ、講座のオンライン化、新たな屋外事業の試み、非来館型サービスの展開など、市民の学びを支えようとする意欲的な事業が企画・実施されたことは非常に高く評価される。感染症への対策等で実施が難しかった事業も、単に中止という位置づけではなく、目的や意義をあらためて確認してコロナ後の事業改善につなげるための大切な時間として令和2年度を位置づけて、ポストコロナ社会を見据えた事業の目的の再定義や新たな方法の開発をすることが望まれる。中止となった事業こそ、令和3年度以降の事業の発展に期待したい。」
5	・基本施策1. 2は新型コロナ感染症により、中止や変更しての実施が多かったため評価が難しい。	ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「「基本施策1. 誰もが学べる環境づくり」「2 学びから広がる地域づくり」は新型コロナ感染症により、中止や変更をしての実施が多かったため評価が難しい。」
6	2020年度はCOVID-19の感染拡大に伴う緊急事態宣言が長期にわたり発令されたことから、図書館及び生涯学習センター等の施設が閉館になったことから、大幅に実施事業が減少した。補足の「感染症の影響」をみても120の事業で全面中止・延期は46事業に達した。 通常通り実施したのは8事業に留まった。 今後のことを考えると、対面を基本とする事業に加えて、オンラインを活用した事業の準備が不可欠だと思われまふ。そして、両者併用とするハイブリッドの実施準備御願ひしたい。オンライン受講については、高年齢者の方の中には不得手の方がたくさんおられると考えられまふ。そのような方向けの「オンライン入門講座」やパソコン活用の得意な市民団体と連携してオンラインお助け隊や学習機会の提供に心掛けていただきたひ。	いただいたご意見を参考に今後も非来館型サービスや出張型サービスの充実を図っていきます。【中央図書館】 生涯学習センターでは、対面による講座を基本としつつも、今後もオンラインを活用した講座の実施及び市HPでの動画配信などを企画・検討し、コロナ禍においても学びを止めることなく、市民の生涯学習活動を支援していきます。【学習支援課】 ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。 「今後を見通すと、対面を基本とする事業に加えて、オンラインを活用した事業の準備が不可欠だと思われる。そして両者を併用したハイブリッドの実施準備をお願いしたい。高齢者向けのオンライン入門講座や市民団体と連携してオンラインお助け隊や学習機会の提供をしていくべきである。」

その他お気づきの点がありましたらご記入ください。

	ご質問など	回答
1	日本遺産高尾山の認定の件で各コースに分かれて体験学習をした様子ですがコロナ禍での延期、実施で人数も少なくバスが閑散とした状態の実施内容は充実し良いので多くの人に周知できなく大変もったいなく思いました。又多様な内容で実施して頂きたい。	コロナ禍での開催で感染拡大防止の観点から予め募集人数を10数名程度にして、広報はちおうじやホームページ等で募集をしました。また、実施後、学習を提供した側へのヒアリングを実施し、今後の課題・展望についての検討を進めています。【日本遺産担当】
2	なかなか感染がおさまらない今の状況下でできる事を増やしていく工夫をお願いしたいと思います。	いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。【中央図書館】
3	二点あります。第一に、必ずしも成果の是非によらず、予算が増加しているケースがあるように思われる。中には「評価なし」で大幅増のNo.30のような例もあり、説明があるとよいと思った。 第二に、オンライン技術に寄り掛かり過ぎることについて、危惧がある。文献によれば、「若者たちに予期せぬ共感低下が始まっています。MITの研究者シェリー・タークルが取り上げたスタンフォード大学のサラ・コンラスとその研究グループによる研究は、過去20年間で若者たちの共感が40%低下し、しかもこの10年で最も急激に低下していることを明らかにしています。タークルによると、共感喪失のおもな原因は若者たちがオンライン世界をわたっていくには、どうしてもリアルタイムでじかに話す関係から注意がそれてしまうことにあります。」(『デジタルで読む脳×紙の本で読む脳』メアリアン・ウルフ 2020 インターシフト)とある。確かに必要に迫られてオンラインを活用していかざるを得ない状況にあるが、オンライン技術は対面による対話や交流にとって代われない側面があることも、きちんと認識したうえで、今後の計画の立案や事業の評価にも反映させていく必要があると思われる。	図書館部では、昨年実施した「市民の読書環境等に関する緊急アンケート調査」を受け、電子書籍等のオンライン技術の活用必要性を認識しつつ、コロナ禍においてリアルタイムで本を選ぶ図書館の重要性を再認識したことから、「第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度事業実施計画」を策定し、「新しい生活様式」を踏まえ、「来館型サービスの質的向上」及び「非来館型・出張型サービスの充実」を課題として掲げるとともに、重点施策を整理しました。【中央図書館】 また、ご指摘の内容について、以下の内容を評価に反映します。「オンライン技術に寄り掛かり過ぎることについて、危惧がある。確かに必要に迫られてオンラインを活用していかざるを得ない状況にあるが、オンライン技術は対面による対話や交流にとって代われない側面があることも、きちんと認識したうえで、今後の計画の立案や事業の評価にも反映させていく必要があると思われる。」
4	コロナの影響は本当に計り知れませんね。長年に亘り積み上げてきた統計調査がぶった切られてしまったのは、市としては相当の痛手だと思います。これまでの常識が通じなくなってきたなど、日々、痛感しています。いつまでも書面開催というのは味気ないので、そろそろZOOMやGoogle Meetsなどを活用したオンライン会議を視野に入れてみてはどうですか。なかなか難しい局面が続きますが、こんな時こそ創意工夫で、お互いに頑張っていきましょう。	いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。
5	在宅での生涯学習活動が可能になるのでスマホ等を利用したZOOM講座を増やしてほしい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にさせていただきます。

報告案件 ①八王子市生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本構想について

	ご質問など	回答
1	市民サークルの学習室予約が競争率が高くとりにくくなっている。午後は2回に分けてより多くのサークルが利用できるようにしてほしい。	市民センターの一部の施設では、午後A区分・午後B区分、夜間A区分・夜間B区分といった区分で貸し出しをしている施設もあります。施設の改修と同時に近隣施設の貸し出し施設の利用形態についても調査し、改修後の利用方法等につきましても検討します。【学習支援課】
2	コロナによる経済不況の中での改修工事ですが、実際地下1階を保護司会事務所でお借りしており月1回の企画調整保護司で事務所の当番を引き受けております。冬期は、足元が冷え2枚の靴下着用し暖房も効きません。トイレも様式が少なく変形和式で流す水の勢いも弱く老朽を感じます。又ホールの出入口の利用勝手が悪い。表側玄関も分かりづらく改装を希望します。	生涯学習センタービルは竣工から20年以上が経過し、ビル内の関係各所管の配置、特に地下1階の配置においてはビル設立当初に比べて大きく異なっております。ビル内の各所管の使用状況を踏まえ、空調設備や電源設備の見直しを進めます。また、トイレや1階のエントランスなど共有部につきましても見直します。【学習支援課】
3	アンケートの回答にも多数ありましたが、部屋の使用料が高いと思います。市民センター(市内)と比べても高いのは何故でしょうか?	クリエイトホールはJR八王子駅および京王八王子駅から徒歩3分という立地ということもあり、市内の各市民センターや生涯学習センター川口分館、生涯学習センター南大沢分館に比べ利用料が高くなっております。施設の利用方法や料金など、近隣の施設と調整しながら検討します。【学習支援課】
4	改修工事が早く実行出来ます様。	関係各所管及び、各施設の大規模修繕の状況と調整しながら、改修工事を進めます。【学習支援課】
5	アンケートにある、入り口の雰囲気や暗いとか、そもそこの施設の存在を知らないという反応は、私も同感である。是非こうした点を踏まえて、改修工事や存在意義が高められるような工夫をするようにお願いしたい。 一つの案だが入り口を通るとかなりの高さがあるので、その意味では開放感があるから、それを生かしつつ、デザインや照明技術を駆使して広さを感じさせるような改修を望みたい。入り口を入ると大空間であると解放感もあり、立ち寄りたくなる魅力も生じてくるのではないだろうか。	1階のエントランスに関しましては、アンケート等でも多くのご指摘をいただいております。まちの広場として親しまれ、中心市街地の活性化に寄与する施設を目指します。【学習支援課】
6	様々な要望がありますが、明るく子ども連れや障害のある方にも過ごしやすい、換気もスムーズで、館に入るとワクワクし、地球にも優しい設備だとより良いなと思います。(私も色々言っていました)	照明器具のLED化などの省エネルギー化や、自然エネルギーの導入なども検討します。【学習支援課】
7	生涯学習センタービルの改修に向けて、建物の現状や市の計画、市民や施設利用者の声を踏まえた基本構想が策定されました。来館したことのない市民の方々や施設の存在を認知されていない市民の方々にも今後ぜひ利用してもらえよう、リニューアル・オープン時はもちろん、それ以前の改修工事を進める段階から、市民がワクワクできるような形で本構想や進捗状況を幅広く魅力的に広報していくことを期待します。	現在、ホームページやSNSで学生向けの自習スペース(フリースペース)や主催講座を発信しています。今後は、館内の施設や設備、今後の修繕の計画についても情報発信を行っていきます。【学習支援課】
8	今まで知名度が低く、暗い印象の生涯学習センターだったので、イメージを払拭できると良いと思います。駅からの利便性が高く活用度が大きいと思われる。ユニバーサルデザインにし、色々な特性のある人が使えるようにしてほしい。	1階のエントランスなどの共有部分など、より多くの方が気軽に訪れるような施設を基本計画策定において検討します。【学習支援課】
9	ビルがリニューアルするのが楽しみです。これを機に、館内で利用できるフリーWi-Fiが設置されるといいと思います。小中学校の子どもたちが、自分のクローブックを持ち寄って何かできる場所になると素晴らしいですね。社会教育施設におけるネットワーク環境の整備も大切かと思えます。すでにあっただらうしません。	現在、生涯学習センター内の一部の貸し出し施設においてはWi-Fiの利用が可能です。全フロアのWi-Fi化や貸し出し施設以外の利用者もWi-Fiが利用できるよう館内の機能の充実を検討します。【学習支援課】

報告案件 ①八王子市生涯学習センタービル中長期保全計画改修工事基本構想について

	ご質問など	回答
10	<p>市民の意見では「暗い」が目立ちますね。特に1階が薄暗く、入りづらい現状はいただけません。建物の構造上、なかなか光を取り入れづらいのかもしれませんが、入ったところにカウンターがあって、スタッフの一人や二人が動いているだけでも安心できる空間になるかもしれません。また、「存在を知らなかった」とする意見も散見されました。八王子市の生涯学習を推進する本丸みたいなのところに残念だなと感じます。改修によって長期間、閉館を余儀なくされるのは痛手ですが、それを逆手にとって、例えば改修中の壁面に大きな横断幕などで進捗状況をお知らせしたり、デジタルサイネージによる映像と音声での完成予想図の告知など、街ゆく人に知ってもらい、期待してもらえそうな工夫がほしいところです。それと、センターが使えない間の代替施設は再考いただければと思います。学園都市センターだけでは受け入れきれないと思うし、いちようホールでは駅から遠いです。セレオやオクトーレの空きテナントを借り受ける、オリンパスホールのあるビルの教室をレンタルして貸し出すなどして、市民の集えるスペースの確保に努めていただけたらありがたいです。</p>	<p>1階の改修等を検討してまいります。また、閉館期間の周知については今後、スケジュールが決まりましたら館内およびSNS等館外においても周知等検討します。ビル全体の閉館期間の対応につきましても、近隣施設等との調整を含め基本計画の策定の中で検討します。【学習支援課】</p>
11	<p>基本構想についてはこれでよろしいかと思えます。ただ、特に4階の機能の見直しが必要と考えます。単なるハードの入れ替えに留まらず、今の時代状況に合わせた改修が必要と思われれます。</p>	<p>これまでのアンケートやワークショップ等のご意見を踏まえ、利用料や利用区分について、また貸し出し施設以外の共有スペース等など、改修に合わせてソフト面につきましても今後検討します。【学習支援課】</p>

報告案件 ②八王子駅南口集いの拠点整備における憩いライブラリ運営方針(案)について

	ご質問など	回答
1	軽食がとれるような店舗の参入。 スペースがあるとさらににぎわうのでは。	いただいたご意見は、管理運営方針策定の参考にさせていただきます。【中央図書館】
2	まだまだ完成まで歳月を必要としますが詳細の不明点が多い。 ・心安らぐ空間と賑わいを感じる活動的な空間で両方ともに集中できるスペースがあるとそこから魅力を感じ又行きたくなり人を引き付ける施設・図書館が生まれると思います。集中すればする程その先の資料や文献が必要とされ良い発想や製品が出来上がってくる。 ・交通の件 駐車場・駐輪場の設置や最寄りの駅からのバス利用や徒歩等の詳細も欲しい。 ・1日の入場者数が多いと快適な空間が保たれない。 ・今までの図書館に無い「八王子の未来のシンボル」を目指して完成する日が楽しみです。	憩いライブラリでは、利用・滞在を促す「サードプレイス」を実現するため、話し声など一定のにぎやかさを許容し交流を促すような空間や「長時間滞在したい」「また来たい」と思っただけのような居心地の良い空間を提供する予定です。また、施設までの交通アクセスにつきましては、誰もが利用しやすい・訪れたい環境を提供するため、駅からの経路を中心に、歩きやすく快適な歩行空間、歩きたくくなるような魅力的な歩行者空間について検討を進めるとともに、駐車場や駐輪場等の必要台数等についても同様に検討を進めていきます。【中央図書館】
3	多様なイベントを行う、ということで以前南大沢にあった大きなテント?を思い出しました。屋外のイベントを企画する際、雨天はどうするかという事がいつも問題になります。今後感染防止を常に考えなくてはならない状況では特に屋外で雨の心配がない施設は使い勝手が良いと思います。	憩いライブラリは、公園の中に図書館機能を設けることから、公園との連続性を保つことは非常に重要であると認識しています。また、雨天時等にも多様なイベントを開催できるよう公園内に大屋根などを設置するなど、様々な利用形態に対応できる施設として整備していく予定です。【中央図書館・集いの拠点整備課】
4	障害のある人や高齢者が多くなる為、駐車場の整備をしてほしい又無料で。	本施設内に駐車場を整備する予定ですが、料金に関しましては、減免等も含めて今後検討を進めていきます。【中央図書館】
5	運営方針(案)については、基本的に異論はない。ただ、市民の運営等に関しての参加という点が、もう少し強調されても良いのではないかと感じた。具体的には、幼少児が声を発しても気にせずいられるライブラリーなのだから、そこでは様々な取り組みがイメージされる。例えば、中高生などが電子媒体や紙媒体を活用した紙芝居を作成し、乳幼児に披露したり、紙芝居づくりをする中高生に、美大生や工学系の大学生や専門学校生がアドバイスをしたり、読書会を通じてどのような紙芝居の絵柄が有効かなどかを、ヒソヒソ声にならず話し合う場面などが想起される。このようなことが市民参加としてあれば、まさに「集いの拠点」となるのではないかと、思うが。	いただいたご意見は、管理運営方針作成の参考にさせていただきます。【中央図書館】
6	今更ですが、他の図書館が縮小すること無く、もう一つ新しい特徴的な図書館が出来るイメージで良いですか? 専門性の高い司書の方は非常勤や非正規ではなく職員として雇用して欲しいです。	憩いライブラリは、既存の図書館にとらわれないイメージの図書館を想定しており、憩いライブラリができることで、直ちに他の図書館を縮小することはありません。運営主体については、指定管理者制度を導入する方針であり、専門性の高い司書の配置を管理運営方針に明記していく予定です。【中央図書館】
7	憩いライブラリにおいて、主な利用者層を「次代を担う子ども、子どもたちを育てる子育て世代」としたことに大きな意義と希望を直感します。日本全体で将来的に少子高齢型の人口減少社会が避けられない中ですから、子どもたちは社会において少数派となってしまいます。その中で、未来を担う子どもたちを真ん中に位置づけて、子育てをする人たちもそうでない人たちも、年齢や立場や価値観等の違いを超えて、ともに憩う時間と空間を共有できるような場として施設を運営していただくことを望みます。	いただいたご意見は、管理運営方針作成の参考にさせていただきます。【中央図書館】

報告案件 ②八王子駅南口集いの拠点整備における憩いライブラリ運営方針(案)について

	ご質問など	回答
8	ここに行くと「落ち着く」や「心が和む」等、子どもたちの明るい笑顔が見られる憩いの場になってほしい。	いただいたご意見は、管理運営方針作成の参考とさせていただきます。【中央図書館】
9	児童書に重きを置いている計画に、大いに感激を覚えました。また、漫画を蔵書する予定もあるようで、安心しました。日本が誇るポップカルチャー。子どもたちはその担い手です。漫画を忌避する文化はそろそろ打破しましょう。漫画を置くだけで、利用する層はぐっと若返ると思います。他に駐車場は広めに確保していただくとよいかなと思いました。そこがパブリックビューイングや野外映画館、花火大会の会場などに様変わりできるともっと面白くなりますね。さらに、ユニバーサルデザインは当然として、エコロジーへの万端にわたる配慮、SDGsへの取り組みが見える施策、ジェンダーを考慮した空間設計がより具体的に見える方針案をいまのうちから形作っておくと、業者選定の際にも役立つのではないかと思います。	本事業では、利用・滞在を促す「サードプレイス」を実現するため、居心地の良い空間を提供するとともに、市民力・地域力の向上や将来の定住人口の維持を目指し、シビックプライドの醸成を促すことを目的としています。駐車場については、本市の自動車利用の状況も踏まえた規模を想定しています。SDGsへの取組やジェンダーを配慮した空間設計に関するご意見は、管理運営方針作成の参考とさせていただきます。【中央図書館】
10	八王子駅南口集いの拠点整備においては郷土資料館もつくられると記憶していますが、「桑都日本遺産センター 八王子博物館」の関係がよくわかりません。次回審議会の折りにご説明を御願います。 さて、憩いライブラリーについてですが、子どもの図書を中心にされることであれば「子ども図書館」と銘打ってみてはいかがでしょうか。	(桑都日本遺産センター八王子博物館の質問については、郷土資料館から回答予定) 憩いライブラリーは、利用者の中心を子どもや子育て世代とする予定で検討を進めていますが、名称については、今後検討させていただきます。【中央図書館】

報告案件 ③第1回本のPOPコンテストの実施について

	ご質問など	回答
1	初めての試みなのでイメージが湧かない。子どもたちも多いと思う。具体的な参考例を募集要項に入れたらどうか。	本のPOPコンテストは今年度が初めての実施のため、ご提案いただきましたように、募集要項裏面の応募票の下に「るりちゃんPOPづくりかた講座」として簡単な作成方法や具体的な作品例を掲載しています。また、A4サイズの「簡単！POPづくり方講座」といったチラシも作成しました。夏以降図書館員が作成したPOPの館内展示等を予定しており、イメージが伝わるよう一層工夫を図っていきたいと考えています。【生涯学習センター図書館】
2	<p>・新しい試みPOPコンテスト実施にあたり本を読んでいないとPOP作りも出来ない。お気に入りの本を大勢の人に読んで欲しい、推薦したい等にとってはコンパクト創造力表現力を養う良い取り組みだと思います。手先も細密な作業が必要で小さい中にも想いを沢山詰め込み従来の読書感想文・感想画に比べて良い点を引き出せればと思う一方サイズがコンパクトのために伝わるのに巧みな工夫が必要でどのような作品が出展されて来るのか楽しみです。小学生低学年の部で細かな作業が出来るのかと思いますが高校生、大学生などは、個性豊かなデザインや色彩ですばらしい作品が期待出来ると思います。</p> <p>・6. 各賞の受賞者を増加した方が良いと思います。読書をする意欲にも繋がると思います。</p>	POPコンテストの実施検討の段階で小中学校の先生方に相談をさせていただく中で、低学年の児童は手先の細かい動きが難しいとのアドバイスを受け、応募用紙をA5サイズ（大きめ）・はがきサイズ（小さめ）の2種類としました。各賞の受賞者数につきましては、初年度の応募状況等により、次年度以降、検討していきたいと考えています。【生涯学習センター図書館】
3	読書感想文や画より誰でも気軽に参加できる点が良いと思います。	お示しいただきました様に、POPコンテストへの移行により、これまでの感想文・画よりサイズがコンパクトで気軽に取り組めること、また読書を通じて感じた「わくわく」「ドキドキ」を表現し伝える楽しさや、「おすすめする・される」という本を通じた人と人との繋がりを生み出すきっかけ作りとなることを目指し、本事業を実施していきます。【生涯学習センター図書館】
4	良い作品が集まります様に。	今年度が初回の実施ということもあり、学校図書館司書の全体会議や市内各小中学校や大学、高校等を訪問し、事業のご説明や周知、応募のお願いをさせていただいています。いただいたご意見を励みに、PRを進めていきます。【生涯学習センター図書館】
5	こうした本の内容を踏まえた紹介文は、一人の着想も大切だが、多くの人々の反応や意見を踏まえて言葉を選んでいくこともあってよいのではないかと考えている。グループ読書が前提となって、POPが構想されてくるような仕組みとなれば、と願っている。	読書感想文・画からPOPコンテストへの移行にあたり、他自治体や出版社の実施状況を参考に、個人での読書・応募を基本として今年度は実施をすることとしました。グループ読書を前提としたPOP作品の受付につきましては、いただいたご意見を参考に、今年度の応募状況等を基に検討していきたいと考えています。【生涯学習センター図書館】
6	読書感想文などの長い文章で自分の気持ちを表すのは今日更に大切な事、貴重な機会と思いますが、POPを作る切り口もイマドキで面白いと思います。	ご指摘をいただきました様に、長い文章で気持ちを表す大切さは意識しつつ、近年文部科学省で提言されている「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の推進を受け、POP作成を通じて文章や絵を工夫し他者に自らの読書体験を伝え、本のPRの実体験を得るアクティブラーニングの機会とすることを目的の一つとして本事業の実施に取り組んでいきます。【生涯学習センター図書館】

報告案件 ③第1回本のPOPコンテストの実施について

	ご質問など	回答
7	今の子どもたちの実態にあったコンテストだと思う。	読書感想文・画からPOPコンテストへの移行にあたり、近年文部科学省で提言されている「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の推進を受け、POP作成を通じて文章や絵を工夫し他者に自らの読書体験を伝え、本のPRの実体験を得るアクティブラーニングの機会とすることを本事業の目的の一つとしています。いただきましたご意見を励みに、子どもたちに楽しんで応募をしてもらえよう実施をしていきたいと考えています。【生涯学習センター図書館】
8	学校への通知は6月中の方がいいと思います。小学校では、夏休みの課題については7月上旬の保護者会で説明します。学校に送る時期を逃すと、夏休みの課題にするのは難しいかと。 また、学校にPOP作りの講師など学校に派遣するといいいのでは。 「募集期間」ではなく、「応募期間」の間違いでは。	ご指摘ありがとうございます。時期を早め、6月中旬に市内小中学校に配布をさせていただきました。 学校へのPOP作りの講師につきましては、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から控え、次年度以降検討していきます。 「募集期間」「応募期間」の文言につきましては、次年度より変更したい思います。【生涯学習センター図書館】
9	初めての試みなので、どんな作品が届くか楽しみです。子どもたち向けに加えて、大人の部があってもいいのかなと思いました。審査が誰によって行われるかわかりませんが、書店とコラボして、書店員が選定したPOPを実際に店頭で並べると、読書家はかなり嬉しいのではないかなと感じました。もちろん、子どもたちの作品を並べても良いと思います。 審査は、来館者投票にしてもよいかもしれません。中央図書館地下展示室に応募作品を一挙に並べて、来館者に良いと思ってもらったものに投票してもらうという方式です。ウェブでも投票を受け付けるといいでしょう。審査を有識者に任せると、どうしても優等生が選ばれる傾向があります。それが悪いとは言いません。それはそれとして最優秀賞、優秀賞を選んでおくとして、別個に市民投票賞があってもいいのではないのでしょうか。 ともかく、POPコンテストによって本の稼働率が上がるようにと期待しております。	読書感想文・画からPOPコンテストへの移行にあたり、初回実施の今年度は、小学校低学年～大学生までを対象としましたが、応募の状況等を踏まえ、大人の部の実施等も次年度以降検討していきたいと思っております。今年度何店かの書店様と連携し、受賞作品を店内に展示いただく予定です。書店員の方による選定につきましては、連携予定の書店様との相談の上で、次年度以降検討していきたいと考えています。 図書館等での展示につきましては、図書館内でPOP作品と対象の本を併せて展示することを予定しているほか、市内小中学校の学校図書館での展示について調整していきたいと思っております。来館者投票につきましては、初回実施の今年度の応募状況を見つつ、導入の検討をさせていただきたいと思っております。 応募した児童・生徒・学生、展示する図書館・書店、ご利用いただく市民の間で「おすすめする・される」という「本」を通じた体験を通して、より本や読書に親しんでいただき本の循環が生まれていくことを目指し、事業の実施に取り組んでいきます。【生涯学習センター図書館】
10	これまでの読書感想文、感想画も大切な事業であったと思います。変更された背景について次回審議会の折りに説明下さい。 確かに、「本のPOPコンテスト」の方がより多くの子どもたちの参加が見込まれると思います。入選作の活用も多様に考えられると思います。各学校図書館で、実物の図書とPOPを展示頂ければありがたいです。	これまでの読書感想文・感想画からPOPコンテストへと移行した背景につきましては、POP作りを通して子どもたちがより主体的に読書体験を通じた感動を表現し、他者へ伝えることにより豊かな人間性をはぐくむこと、情報化社会やグローバル化などの社会情勢の変化を背景に文部科学省が提言している「主体的・対話的な学び(アクティブ・ラーニング)」の推進を目指すこと等にあります。 また、図書館等でのPOPの展示により、子どもたちが「本のPR」の実体験を得るアクティブ・ラーニングの機会にするとともに、応募した子どもたち、展示する図書館、来館者の間で「本をおすすめする・される」の循環を生み出し、読書習慣を身に付けてもらうことで「読書のまち八王子」がめざす読書活動の振興を図ることを目指しています。 市内小中学校の学校図書館での展示等の活用につきましては、調整をしていきたいと思っております。【生涯学習センター図書館】